

受託団体名	国立大学法人群馬大学
-------	------------

事業実績報告書

(1) 講習の実施方法： 対面講習 ・ 通信講習 （不要なものを二重線で消す）

(2) 本事業における目標等

特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座であり、特別支援学校教諭として必要な基礎的知識を理解することを目標とする。

(3) 事業の実施日程

事業項目	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (指導者養成講習会)						○	○	○	○			

認定講習・公開講座・通信教育開設まで及び終了後のスケジュール

実施時期	計画事項
2019年3月	教育学部において講座開設の審議
2019年7月	本学部公開講座ホームページにおいて広報
2019年8月	受講決定通知の送付
2020年1月	受講者からのアンケート集計
2020年1月	受講者の単位認定

(4) 認定講習・公開講座・通信教育の概要

認定講習・公開講座 通信教育名称	概 要	期 間	定員	中心となる領域	時間数	一・二種 専修の別	施行規則第7条 該当欄
			受講希望者数	含む領域	単位数		
			受講者数 (うち単位認定者数)				
講師 職・氏名							
2019年度 認定公開講座 視覚障害教育	<p>特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座である。</p> <p>視覚障害教育の概念，視覚障害に関する学校教育の歴史・制度・実態及び教育課程，視機能の評価等を概説する。また，盲，弱視，盲重複，盲ろうといった様々な視覚障害のある児童生徒等との実際的な係わり合いを紹介し，こうした児童生徒等に対する教育的対応の在り方について考える。</p>	11/9 ～ 11/10	40人	視	15 時 間	二種	第二欄
			55人		1 単 位		
			55(55)				
2019年度 認定公開講座 知的障害児教育 総論	<p>特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座である。</p> <p>知的障害の定義，原因，診断方法の概要を学習したうえで，知的障害児における心理（認知，言語，情緒，社会性等）特性，行動特性などについて学び，それらの特性にもとづいた教育方法，教育課程等の総論を講義する。なお，診断方法として心理検査・発達検査については公認心理師である本間健一氏とともに実技指導を行った。</p>	11/3 ～ 11/4	40人	知	15 時 間	二種	第二欄
			93人		1 単 位		
			93(93)				
2019年度 認定公開講座 肢体不自由児 教育総論	<p>特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座である。</p> <p>肢体不自由児の定義と起因疾患，肢体不自由児教育の歴史，現状と課題を概観した上で，肢体不自由のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の在り方について講義する。</p>	12/21 ～ 12/22	40人	肢	15 時 間	二種	第二欄
			91人		1 単 位		
			91(91)				

2019年度 認定公開講座 重複障害教育 総論	<p>特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座である。</p> <p>重度・重複障害教育の基礎理論を概説すると共に、筆者の重度・重複障害児との係わり合いの省察に基づいて、こうした児童生徒等に対する実際の・具体的な取組を紹介する。その際、「コミュニケーション」や「探索活動」、「共同的活動」といった視点から、教育的対応の在り方について考える。</p>	9/28 ～ 9/29	40人	重複	15時間	二種	第三欄
			75人	視・聴・知・肢・病	1単位		
			75(75)				
	教育学部准教授・中村 保和						
2019年度 認定公開講座 聴覚障害児の 理解	<p>特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座である。</p> <p>聴覚の解剖・生理、聴覚障害の原因となる疾患や聴覚障害児の心理特性、聴覚障害をめぐる将来の動きや技術の進歩まで、聴覚障害児の全体像を理解することを目的とする。さらに、障害を持つ児童生徒等への福祉全体とその中の聴覚障害児の福祉についても言及する。</p>	12/7 ～ 12/8	40人	聴	15時間	二種	第二欄
			63人		1単位		
			63(63)				
	教育学部教授・吉野 浩之						

(5) 事業の実施結果

(1) 受講人数

163 (実数) / 377名 (延べ人数) 受講希望者数も同じ

令和元年度は、群馬県教育委員会での広報により、昨年度受講人数94名 (実数)、199名 (延べ数) と比較して大幅な受講者増であったが、今回は受講希望者に配慮して全員を受入れる措置をとった。

(2) 単位認定年月日

2020年1月15日

(3) その他

群馬県教育委員会で開催している免許法認定講習と連携し、特別支援学校教育職免許状取得に要する科目を2グループに分け、毎年交互に開講している。

(4) アンケート集計結果

別紙のとおり

(6) 事業の実施成果

特別支援学校教諭二種免許状を現職経験に基づく特例によって取得しようとする学校の教諭を主な対象として開講される免許法認定公開講座であり、特別支援学校教諭として必要な基礎的知識を理解することを目標としている。令和元年度は、受講人数 (実数) 163 名、(延べ数) 377 名の受講があり、当該者の単位を認定した。受講者からも特別支援学校教諭として必要な基礎的知識を得られたとの好評をいただき、当初の目標を達成したと考えられる。なお、各講座の定員は 40 名と記載しているが、例年の通り、希望者全員を受入れているため、全講座の受講実勢は 40 名 (定員) を上回っている。特に、知的障害児教育総論は 93 名、肢体不自由児教育総論は 91 名であり、計画よりも 2 倍以上の実績であった。

(7) 今後の改善事項と方策

今回の受講者増を受け、次年度以降の定員については、見直す必要があるため、状況を踏まえて検討したい。